

イチゴ果実部およびクラウン部局所加温システムの省エネルギー効果

高設栽培装置に付設する当所が開発したイチゴ果実部およびクラウン部を局所的に温めるシステムを導入し、温室暖房設定温度を5℃に設定すると、慣行の暖房設定温度8℃のときと比べ、収量は増加、暖房装置からの放熱量は減少します。

表 試験区の設定

	暖房設定温度	果実部およびクラウン部局所加温システム
実証区	5℃	有
慣行区	8℃	無

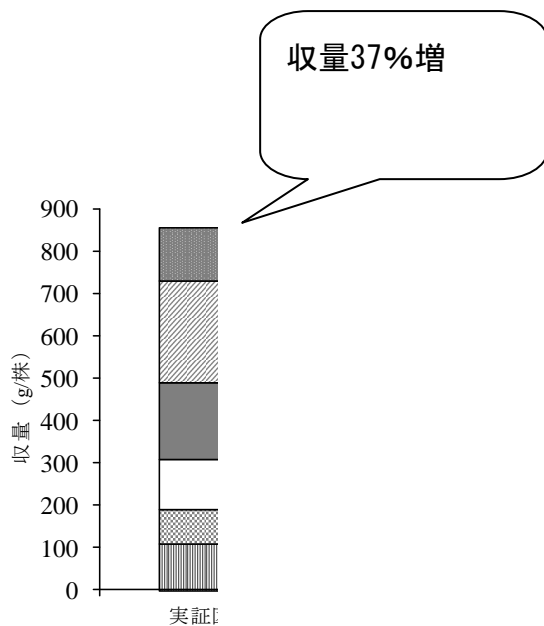


図1 実証区および慣行区の収量 (2013年11月～2014年5月)

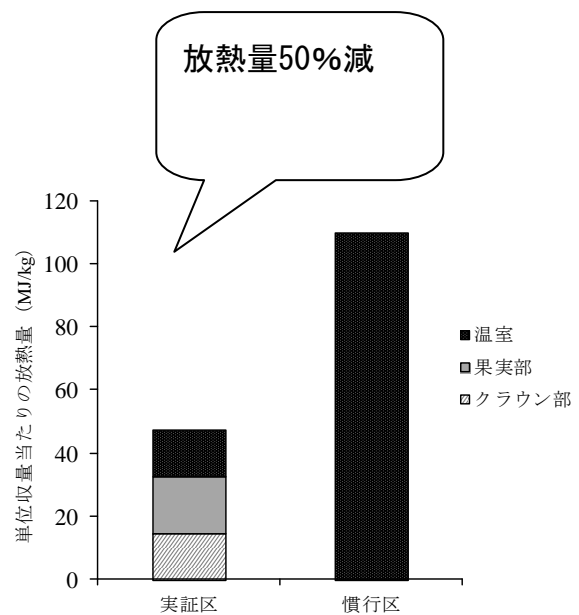


図2 実証区および慣行区の試験温室における放熱量 (2013年11月～2014年3月)